



Mitake
Sayaka
Salon

美竹清花さろん こけら落とし【第二夜】

渡邊智道 ピアノコンサート

2017年6月10日(土)

開場17:30 開演18:00 食事会20:00

入場料8,000円(全席自由席)*食事付き



Program *曲目・演奏順は変更になる場合がございます。

J.S.バッハ=M.ヘス：主よ人の望みの喜びよ

J.S.バッハ：平均律クラヴィーア第一巻 第22番 変ロ短調
BWV.867

ショパン：バラード第2番 へ長調 Op.38

ショパン：ワルツ 第13番 変ニ長調 Op.70-3

ショパン：ワルツ 第7番 嬰ハ短調 Op.64-2

ショパン：ノクターン 第17番 ロ長調 Op.62-1

ヤナーチェク：主イエス＝キリストはお生まれになった
('ないしょのスケッチ'より)

ヤナーチェク：追憶に

ヤナーチェク：草陰の小径にて 第一巻より

'フリーデクの町の聖母マリア'

J.S.バッハ：イギリス組曲 第2番 イ短調 BWV.807

Profile

渡邊智道 (わたなべともみち)

大分県別府市出身。

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校卒業、

東京芸術大学卒業。ピアニスト、作曲家。

2009年フツベル鳥栖ピアノコンクール第1位、

並びに月光賞を受賞。

2016年日本音楽コンクールのピアノ部門で第3位を受賞。

限りなく優しく美しく天空に舞う調べ

鋭い感性を持ちながらも、実にやさしく温かく、ふわっとしています。

この鋭さとやわらかさの両立がたまらない彼の魅力として感じられます。

音楽的にもまったくそれが同様に言えると思います。彼のレベルにまで音楽的感性を磨き上げるためには、

生活全般にわたって相当な苦心惨憺、努力を傾注されてきたはずで

感性だけの芸術家では、仕事や作品を残すことはできません。

すぐれた芸術家は、同時に、すぐれた職人でもなければなりません。

職人に偏ってしまえば、「偏屈と意固地さ」が目立ってしまうようになりがちです。

芸術家に偏ってしまったら、作品を残すことも、技術を

磨くこともできなくなり、けっきょくは芸術家を降りなければならないことにもなりかねないでしょう。

才能に溢れる方は、このバランスが実にむずかしいのだと思います。

渡邊智道さんのなかに、わたしはこのすばらしいバランス、両立性を感じています。

なぜこんなにすばらしい演奏ができるのか？

この“音楽性”はいったいどこから来ているのか？

彼をここまですばらしく導くことができた教師などいるのだろうか？

いったい彼はどこの、どんな先生についてきたのだろうか？

こんな疑問が次から次へとわいてくるのが渡邊智道さんという演奏家・ピアニストです。(渡辺公夫)



・ご予約・問い合わせ先／美竹清花さろん 03-6452-6711 Webサイトからでもお申し込みいただけます。http://ur0.pw/DhXd